藤岡みどりのワクワクレポート

第14号

2015.3.1発行

発行：藤岡みどりを推薦する会　会長　大西多美子・松前町議会議員　藤岡　緑
〒791−3132　愛媛県伊予郡松前町西高柳255−1
☎ 089-989-3132 FAX 089-989-3131 ホームページ http://www.fujioka-midori.jp

2015年は新たなスタートダッシュの年！

新年の挨拶を取り交わす時期が過ぎれば、もう伊予路に春を呼ぶお椿さんでしょうか。時の流れは速いものです。

今年は松前町も岡田、松前、北伊予の３村が合併し１つの町となって６０年となる節目の年を迎えます。

１０年前には更に伊予市、中山、双海の１市２町との合併も検討されましたが不調に終わり、松前町は単独で歩む事になりました。

町は合併による恩恵（国からの有利な補助金など）に頼らず徹底した行財政改革で乗り切り、今では県下２０市町の中でも活気あるコンパクトシティを目指しているところです。

特に本年は４月に県議会、８月に町議会、１１月には町長の選挙が予定されていて、私は町議として二期８年を振り返りつつ、まだやり残したこと、住民目線で行政に対し物申していきたいこともあり、三期目を目指し準備していく覚悟であります。

これからも現職の仕事をしっかりこなしながら頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

★主な参加活動記録

9月	・松前町防災訓練
	・9月定例議会
	・調査特別委員会
10月	・岡小運動会、地方祭
	・グループホーム家族会
	・まさき文化祭
	・伊予消防等事務組合議会
11月	・西高柳1番地めぐり
	・防災絵本読み聞かせ
	・ワイワイ座談会
	・えひめ国体実行委員会
	・調査特別委員会
12月	・公民館活動を語る会
	・12月定例議会
	・年末夜間地域巡回

～事務所から　こんにちは～

『一番地めぐり打ち合わせ風景より』　10.17

- 今日は、西高柳のルーツを探求する史談会のおじさんたちがやってきて朝から約２時間半の打ち合わせを。
  昔の写真や区割り地図などを見ながら大興奮。
  まだ村だった頃の地名などが並ぶ場所が遊水地で、ドジョウ捕りに興じていた話に盛り上がる人生の大先輩たち。
  いつの間にか、みな腕白坊主の顔に。
- 高柳が二つに分かれて上と西に。その境の一番地から自分たちの地域を歩きながら改めて新鮮な発見があったりします。
- 当日に向けてしっかりと準備を。作戦会議の場にこの事務所を使って頂き、私もスタッフとしてお手伝いできて光栄でした。

昔の地図と今の違いを感じながら、
西高柳のルーツを探索する旅へ
11.08

西高柳１番地の角

みんなのページ

対談　～２期目の終盤を迎えて～

O：大西多美子会長

O　『二期目も残すところあと半年、これまでの議員活動はどうだったの？』

F　『充実はしていたけど、難しさも痛感した活動でした。行政側との議論より議員間の議論がかみ合わず全体として議会が住民から離れた存在に見えていたのではないでしょうか。

住民の方々との活動は楽しく、色々なニーズにも対応できる話し合いの場が持てたと思います。』

O　『町議選だけではないけど年々投票率が下がってきてるよね。

これは議会が住民からの期待が薄れ、誰がやっても同じと思われてる証では？特に若い世代には失望感があるのでは。』

F　『確かに、若い人たちへの施策、雇用や再就職、子育て世代の支援充実など彼らの声が十分に反映できていないのも事実。

これからは、彼らの得意分野でもある情報収集力に寄り添い、 いろいろなツールや機会を利用して発信していきたいと思います。』

O　『もちろんこれまでのあなたの支援者のことも忘れず地域やくらしに密着したまちづくりができるように議員として頑張ってくださいよ』

F：藤岡みどり議員

F　『これまで以上に汗をかいて三期目につながる活動をする覚悟です』

O　『しっかり汗をかいてダイエットできたら一石二鳥だね。（笑）』

F　『ハイ、頑張ります！』

～通学路をより安全に～

年明けの補導員さんたちの集会に参加させて頂いた時に、通学路の安全確保のためドライバーへの注意喚起を確実に行いたいという意見があり町へつなぐ。（現在出会い橋付近の工事のため迂回路渋滞を避けて近隣の細い道が朝夕の登下校時に危険になっている。）

★町の早い対応で減速効果があって状態は緩和されたようだ。

（道路上に通学路の大きな文字・白線・点線表示で減速効果を）

編集後記

いつもご愛読ありがとうございます。

この事務所も設置されてから8年近くなります。早いですね～。この間、徐々にではありますが、事務所を訪れてくれる人も多くなりました。訪問理由は様々ですが、皆様に愛される事務所であることを願っています。

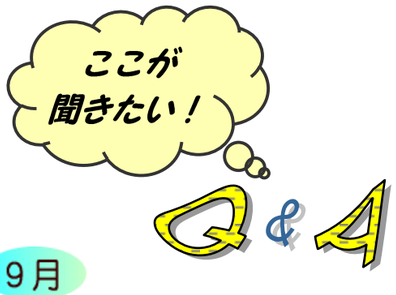
また町議会議員の任期満了まで残り少しとなりましたが、松前町をよい町とするためにも読者の方々の貴重なご意見をお待ちしております。　（K.I）

事務所スタッフ常駐時間帯

（月・水・金）AM9：00～PM5：00
（火・木）　AM9：00～正午まで

皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしてます。　メールアドレス　fujioka.midori@gmail.com

～みどりの一般質問より～



9月

Q コンビニに AED 設置で深夜の急患にも安心

A. ２４時間営業のコンビニエンスストアに AED を設置することで休日や夜間も使用可能になり町民の救命の機会が拡大するとは思う。
ただ導入経費やメンテナンスなど経常費用が掛かり日常点検や管理についても一定のルールが必要。
まずは先進事例の情報収集後検討していきたい。

(>-<)　県内では導入事例はないが、住民の要望は大きい。

12月

Q 保育所の土曜午後保育など今後の対応は

A. 平成２７年度から５年間の子育て支援計画を策定中だ。
この中で保育所の行う延長保育、一時預かり事業などの保育サービス」の必要量を見込んだ方策について協議している。
土曜午後保育、休日保育など住民ニーズと財源なども勘案して総合的に検討していく。

(>-<)　土曜午後保育の優先度は高いと思うが。

Q 耕作放棄地の取扱いや問題の解決法は

A. 町内の耕作放棄地の率は、県下ではかなり低いが農業従事者の平均年齢は 69.2 歳と高齢化は否めない。そのため農業を継続できない就農者に対して農業委員を通じて地域の担い手探しをしたり、年１回の農業パトロールの実施で農地再生への改善を図っている。耕作放棄地が判明した時は農業委員会から耕作者に対する指導文書の送付、適正管理のお願いをしている。
「人、農地プラン」を活用して新規就農者の育成にも努めている。

(>-<)耕作放棄地は、将来に向け増加傾向だから　しっかり対策を。

研修およびその他の活動

防災士としての活動

◎1月22日　女性と防災グループ3人娘(？)で奮闘

「こんなに高～い波が来ることがあるんだよ、知ってる?」『津波だあ!』子どもたちの目が真剣。「こうなる前にどうしよう」『逃げる』「どんなとこに？」…などと絵本を通して**自分の命は自分で守ることの大切さ**をエンゼル幼稚園でリオンの絵本の読み聞かせにより、防災教育の実践として行った。
幼稚園スタッフの方に動画記録も撮ってもらい、これを来たる3月の仙台で行われる国連世界防災会議の分科会で取り上げて頂く予定になっている。去年の秋から既に幼稚園や小学校低学年を対象にまた学童保育などでも行い、幼い頃から防災意識を育む活動を広げている。

◎1 月 31 日　災害時のトイレ問題をワークショップ形式で検証
(松山市コムズフェスティバル分科会にて)

これまでの大災害時に一番困ったのは、トイレの問題だったとよく聞く。

左:　菊野氏(株 Plus　One　代表)
右:　宮内氏(松山衛生事業協同組合事務局長)

人は食事をすれば必ず排泄が必要。その場所であるトイレが使えなかったらどんなことに・・・。

20年前の阪神大震災時に、神戸にて避難所や地域で起こったトイレの悲惨な実態を経験された菊野氏の話を皮切に実験を踏まえ今後の備蓄や防災計画について話しあった。

お困りごと相談　⇒　ようやく解決に ☺

昨年の秋、地域の方から耕作放棄地に生えているセイタカアワダチソウの花粉による健康被害についてのご相談があり、ここ数年雑草の成長に比例して体調も悪化しているとのことだった。私は早速実態調査とその背景について自分なりに調べてみた。
やはり後継者問題があり、高齢化による担い手不足と整地するための経済問題もからみ、結果的にこのような形になっていることが分かった。でも放置していても問題解決にならないので、農業委員さん、地区役員さん、そして行政の方々の知恵やご努力をさらにお願いした。結果きれいに雑草が取り除かれ、新しい担い手も決まり、同時に花粉被害がなくなって、相談者の笑顔を見ることができて、本当にうれしかった。今回の事例を通して、私は皆さんにとってコーディネイター的役割をさせて頂いただけかもしれないが、これを基に一般質問にも反映させ町全体への問題提議も行った。

☆　宇城広域連合組合消防本部の視察　(熊本県)

伊予市･砥部町の議員さんたちと共に、伊予消防等事務組合議員として研修視察に。
広域連合の事務局の仕事には消防･救急救命だけでなく、介護福祉環境衛生･浄化センターの仕事などが入っていて、これらを一つの事務組合で行っている。
事務管理の徹底的な簡素化･合理化を進めていることがよくわかった。
また外観とは違って、充実した救急情報通信センターやシステムには驚かされたが、人もお金もずいぶんかかっているようだ。
今後参考とすべき点が斟酌されていくのではないだろうか。　　(10 月 29～30 日)

(最新の通信機器が充実)

◎12 月 11 日　地域防災マップ作り

7月に地域巡回した経路をマップに起こし、写真貼り付けなど大きく拡大した地図に防災士の仲間で書き込んでいった。
「この道は行き止まり」「消火栓の標識がサビている」「ブロック塀が迫って、細い道だ」…こんな声をしっかり表示。みんなに見える、集会所入口に掲示中。

☆　ワイワイトーク(座談会)

11 月 13 日、ネットワーク松前が主催する座談会に参加。
今回は愛大病院の伊賀瀬先生をお招きし、認知症について講演をしていただいた。
先生のわかりやすいトークで会場内は時々笑いに包まれて和やかに。
時として深刻な脳の病気が治療と周りの理解でその進行を遅らせることができる。認知症の本人も尊厳を守りながら社会生活を長く続けていくことも可能。まさに希望につながるお話だった。

(超多忙な伊賀瀬先生をお招きして…)